

2021 年 12 月 16 日

富士急行株式会社

## “下吉田の駅に特別な日がくる” 富士急行線・下吉田駅の列車接近音が 12月22日(水)よりフジファブリックの楽曲に変わります



下吉田の  
駅に  
特別な  
日がくる。

フジファブリック  
志村正彦の音楽を  
みんなで紡いだメロディ



富士急行株式会社（山梨県富士吉田市）では、2021 年 12 月 22 日（水）より、富士急行線・下吉田駅の列車接近音を、地元出身のロックバンド「フジファブリック」の楽曲に変更いたします。

【特設ページ】URL : <https://www.fujikyu-railway.jp/fujifabric/>

下吉田駅は、ロックバンド「フジファブリック」のフロントマンとしてボーカル・ギター、作詞作曲を手掛けた志村正彦さんの故郷です。今回の導入は、志村さんの同級生である弊社社員が声を上げ、志村さんのご家族をはじめとし、関係各所より多大なるお力添えを頂き実現いたしました。

今回導入するのはフジファブリックの中でも代表的な 2 曲で、河口湖方面行きは「若者のすべて」、大月方面行きでは「茜色の夕日」が、それぞれ列車接近時に流れます。なお、富士急行線として初めて、メロディへの編曲を行わず楽曲そのものを使用することで、志村さんの歌声と音楽をそのまま届けます。

また、これに合わせ、下吉田駅のホーム上には、志村さんのプロフィールや楽曲の紹介を記載したパネルを設置するほか、オリジナルデザインのヘッドマークとポスターを掲出した列車も 12 月 22 日（水）～1 月 10 日（月祝）の 20 日間限定で運行いたします。

今後も富士急行線では、志村さんの遺したすべての人の心に響く音楽・歌声を、より多くの人に知ってもらうための取り組みを、継続して参ります。

## 【列車接近音の導入概要】

列車接近音とは、ホーム上にいるお客様に向けて、列車が近づいてきていることを知らせるためのものです。列車接近アナウンスの後に 40 秒ほど楽曲が流れます。

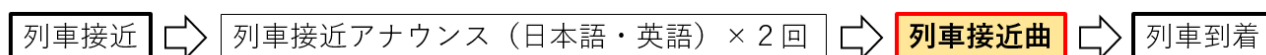
■実施場所 富士急行線「下吉田駅」 1・2 番線ホーム

■日 時 12 月 22 日（水） 下吉田駅 15 時以降に到着の列車より切替え

※当日の運行状況や機器調整により多少前後する場合がございます。

■曲 名 ①「若者のすべて」 河口湖方面行き（1・2 番線共通）  
②「茜色の夕日」 大月方面行き（1・2 番線共通）

### <列車到着までの流れ>



## 【下吉田駅のホーム上に紹介パネルを設置】

富士急行線「下吉田駅」のホーム上に、志村正彦さんのプロフィールや、今回導入する楽曲について紹介したパネルを設置します。デザインはフジファブリックの CD ジャケットやグッズデザインを手掛けていた柴宮夏希氏が担当。日本国内だけでなく、海外にも多くのファンを持つ志村さんのことを、この地を訪れる世界中の方に知っていただくため、プロフィールは英語・中国語・タイ語の翻訳もついています。

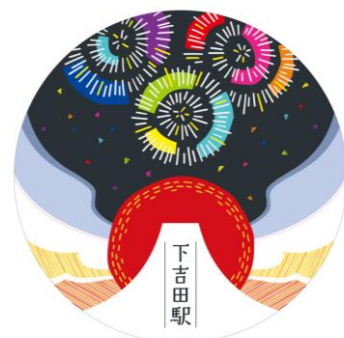


※デザインイメージ（両面パネル）

## 【オリジナルヘッドマーク付き列車の運行】

今回導入する 2 曲のもつ叙情的な雰囲気を一枚に表現したオリジナルデザインのヘッドマークを付けた車両を、導入日当日より 20 日間で運行いたします。志村正彦さんの音楽を世の中に広く伝えたいという思いが込められています。

- ・運行期間 2021 年 12 月 22 日（水）～1 月 10 日（月祝）
- ・運行計画 普通列車を中心に運転



## 【本企画の経緯】

下吉田駅のある富士吉田市では毎年、志村さんの誕生日と命日に当たる 7 月 10 日と 12 月 24 日の前後 1 週間、防災無線のチャイムにフジファブリックの楽曲を採用しています。地元の高校生たちによる「#私たちのすべて」の活動や、全国高校放送コンテストにおいて、志村さんを題材とした作品を発表するなど、学生自らが発信する活動も広がっています。志村正彦さんをたくさんの人に知ってもらい、彼と彼が大切にしていた方々に恩返しをしたいという、地域の取り組みが広がっていく中で、その熱意に共感し、弊社としても何かできないかという思いから今回の企画が立ち上がりました。

### 【フジファブリック志村正彦さんについて】

志村さんは富士吉田市に生まれ育ち、高校卒業後、ミュージシャンを志し上京。ロックバンド「フジファブリック」を結成し、バンドのフロントマンとしてボーカルとギター、作詞作曲を手掛け、2004年に念願のメジャーデビューを果たしました。

独創的で叙情的、心を揺さぶる詞とサウンドは多くの若者を中心に支持され、新時代を切り開くロックの旗手と期待されていましたが、2009年12月、29歳の短い生涯を終えました。

遺された多くの楽曲は幅広い世代に評価され、光を失うことなく愛され続けています。また故郷を舞台とした曲も多く、彼が生涯続けたこの街への愛着が感じ取れます。

今回導入する「若者のすべて」は、高校音楽の教科書に採用されました。他にも高校の国語の副読本に同バンド曲「桜の季節」が採用されました。



『若者のすべて』『茜色の夕日』（作詞・作曲／志村正彦）

フジファブリック / Licensed by USM JAPAN, A UNIVERSAL MUSIC COMPANY